

第43回大学職員オンラインセミナー

新たなリスクに挑む大学マネジメント —具体的な事例から考える—

日時：2022年11月5日（土）

対象：主に大学職員（定員30名）

形式：Zoomを用いたオンラインセミナー

主催：公益財団法人大学セミナーハウス

協賛：公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩

後援：大学コンソーシアム八王子

開催趣旨

大学では多くの事故・事件が発生しており、その結果、人の身体や財産に損害が生ずることもしばしばあります。誠意ある対応は当然のこととして、社会的・道義的責任を負う場合には、実効性ある組織的対応を行うことが必要となります。なかには、大学が加害者となり法律上の賠償責任を負う場合や、さらには大学の役職員が刑事上、行政上の責任を負うこともあります。もちろん事故・事件に備えたりスクマネジメントは、大学経営上の重要課題としてすでに定着しています。ところが近年になり、大学は新たな巨大リスクに直面することになりました。皮肉なことに、教育研究活動を活性化・高度化するうえで原動力となる社会連携活動やICTの発展等が、不可避的に、新たなリスクを呼び込むことになったのです。損害賠償や懲戒処分を伴う重大事故はすでに起きており、今後さらに増加することが危惧されています。現行のリスクマネジメントシステムのスコープの拡張という喫緊の課題に応えるために、まず新たなリスクの詳細について知識を得ることが必要でしょう。これが本セミナーの第一の目的です。

第二に、リスクマネジメントの強化に向けてすでに膨大な資源が投入されている一方で、依然として同様の事故・事件が繰り返され、大きな損害が発生しています。リスクについて十分な知識が蓄積され、防止に向けた組織的取組みも制度化されているにもかかわらずです。なぜなのでしょうか。事例の検討を通じて見えてきたのが、制度設計そのものではなく、運用の段階で大きな問題が生じているのではないか、という事情です。制度を成果に繋げることのできないマネジメントの機能不全、という問題が、リスクマネジメントの領域でも起きているのではないか。おそらく、直接の担当者だけではなく関連する全職員が、リスクマネジメントの当事者として知識と自覚を持って行動することが、問題解決に向けた鍵となるはずです。古くて新しい、マネジメントの機能不全という問題の克服に向けて理解を深めていくことが、本セミナーの第二の目的となります。

第三の目的は、リスクマネジメントの難しさの本質を理解することです。リスク社会論が教える通り、今日、社会の不安定化と科学技術の発展が相まって、解決が困難な多くの社会問題が引き起こされています。大学で多発する事故・事件も、もちろんその一部です。本質的な難しさを理解することにより、事故・事件の防止に向けた効果的で粘り強い取組みへの道がひらけてくるのです。

基調講演1

大学が直面している新たなリスクと
わかっていても減らない事故

藤井昌雄（国大協サービス取締役副社長兼事業部長）

基調講演2

リスク管理論とリスク社会論に学ぶ
マネジメント

加藤毅（筑波大学大学研究センター准教授）

プログラム

■ 基調講演 1「大学が直面している新たなリスクとわかっていても減らない事故」

講演者：藤井昌雄（国大協サービス取締役副社長兼事業部長）

主旨：講演ではまず、過去7年間にわたり独自に収集した大学関連の事故・事件1,540件のデータについて、大学の管理・経営、事故・事件、入試関連、ハラスメント、不正行為、学生・教職員の不祥事、情報セキュリティという7大項目に分類し、その時系列動向を検討します。分析を通じて、リスクマネジメント体制の整備が進むことで発生件数は減少しているのか、またどのような新たなリスクが生じつつあるのか、などの疑問に答えていきます（マクロ分析）。次に典型的な事例群を取り上げ、事故・事件に至る経緯や発生後に必要となる対応等の詳細、そこで生ずる損害額等について理解を深めていきます（ミクロ分析）。これらの分析の結果をふまえ、最後に、リスクマネジメントの体制および運用上の問題、顕在化した事故・事件の原因や予兆、事故・事件の有効な防止策とその実現のために必要な資源などについて試論を展開します。

プロフィール：1976年 東京大学に事務官として採用、2002年 東京大学から国立大学協会事務局に出向／国立大学法人化と新国大協創設準備を担当／国大協保険創設に携わる、2004年 社団法人国立大学協会の設立とともに企画部主幹に就任、2005年 有限会社国大協サービスが設立され事業部次長に就任、現在 取締役副社長兼事業部長

国大協保険、病院長会議保険の募集実務を行うほか、学研災学生生活総合保険、臨床研究保険、役員賠償責任保険の創設に携わる



■ 基調講演 2「リスク管理論とリスク社会論に学ぶマネジメント」

講演者：加藤毅（筑波大学大学研究センター准教授）

主旨：事故・事件に備えたリスクマネジメントの機能不全を克服するための体系的知識がリスク管理論です。るべき基本的考え方や、リスクの発見方法や測定枠組み、対応パターンやコントロールプロセスなどについて、事例に即して理解を深めていきます。

他方、リスク社会論が主張するように、社会の不安定化と科学技術の発展が相まって、解決困難な多くの新たな社会問題が引き起こされています。大学で多発する事故・事件も、もちろんその一部です。講演では、リスク社会論により解き明かされる問題の難しさについて改めて整理した上で、そこでのマネジメントのあり方について議論を深めていきます。わかっていないながらも防止することが難しい、その理由を理解することによって、実効性のある粘り強いマネジメントの取組みが可能となるはずです。



■ グループワーク

テーマ：リスクマネジメントの現状と課題

小グループに分かれて、具体的には以下のことについて議論していただきます。

- 1：リスクマネジメントの体制や運用上の問題
- 2：顕在化した事故・事件の原因や予兆
- 3：事故・事件の有効な防止策と実現のために必要な資源

スケジュール（11月5日）

13:00～13:10 開会
13:10～13:50 基調講演 1
13:50～14:30 基調講演 2
14:30～14:40 休憩
14:40～16:00 グループワーク
16:00～17:00 各グループからの報告と総括
17:00～17:10 閉会

大学職員セミナー企画委員

神山 正之 立教大学入学センター<委員長>
青木 加奈子 共愛学園前橋国際大学短期大学部事務局
加藤 毅 筑波大学大学研究センター准教授
黒田 絵里香 慶應義塾塾監局総務部課長・協生環境推進室事務長
田中 一平 法政大学学務部次長
渡邊 正樹 中央大学学事部企画課課長

募集要項

申込方法：法人ホームページのセミナー申込フォームよりお申し込みください。

定員：30名

参加費：協力会員校3,000円、一般校5,000円、行政管理学会会員3,000円

申込締切：2022年10月25日(火)

お問合せ：公益財団法人大学セミナーハウスセミナー事業部

TEL: 042-676-8512(直) FAX: 042-676-1220

Email: seminar@seminarhouse.or.jp

申し込みページ

